

免疫不全マウス専用飼育室利用手引き

令和1年9月27日作成

1. 免疫不全マウス専用飼育室の入室及び搬入について

- 感染防止の為、関係者以外の入室は禁止する。
- 1日のうち動物を扱うときは免疫不全マウス専用飼育室を先とし、他飼育室は後にする。
- 飼育室内には、専用の長靴に履き替えて入室する。
- 持ち込む物は、全てオートクレーブで滅菌。オートクレーブにかけられないものは、二酸化塩素、アルコール等で消毒して搬入する。

2. 飼育について

- ケージ交換は、室内に置いている滅菌済ケージに床敷用スコップで床敷を適量入れる。マウスの移動はピンセットを使用して行う。
※床敷用スコップ・ピンセットは殺菌線保管庫に準備している。
使用後アルコール消毒し、元の場所にもどす。
- ケージを増やすときは、室内に準備している飼育具（ケージ・滅菌済フタ・仕切り・ラベルホルダー・給水ビン）を使用する。
※廊下に準備された飼育具は使わない。
- ケージ交換は必ずテーブルの上で行ない、テーブルは使用の前後にアルコールをかけて消毒する。
- ケージ交換後、散らばった床敷や糞は清掃する。
- 処置は、テーブルにドレープを敷いて行う。
- 使用後の体重計・麻酔器などは、洗浄やアルコールをかけて消毒する。
- 処置後のごみ等は、搬出する。

※違反を発見したら、飼育室の利用を停止させる。